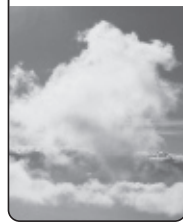


個人質問

9月定例市議会では、三十三人の議員が、議案や市政全般についての質問を行いました。その中からいくつかを取り上げて、要旨を掲載します。

一般・暮らし



県財政構造改革プラン素案 本市の今後の対応

問 岡山県「財政構造改革プラン素案」の本市への影響と、今後の取り組みは。

答 「財政構造改革プラン素案」の影響について、関係部局で内容を精査している。本市に関する項目として保健所建設費補助金の廃止などがある。

今後は県に対して慎重な検討を求め、県市長会と連携して県との協議を進めたい。

発達障害者への 支援体制を強化

問 発達障害者支援センターを設置する予定は。

答 発達障害児は近年増加を続けており、本市では早期発見のため乳幼児健診、健診後

の支援、障害児保育などの先進的な取り組みをしている。

しかし、さらなる支援の充実が必要であると強く感じており、乳幼児期から成人期までの一貫した体制のあり方を総合的に検討している。発達障害者支援の中核を担う拠点の整備についても、政令市移行後の早い段階で進めたい。

用語解説

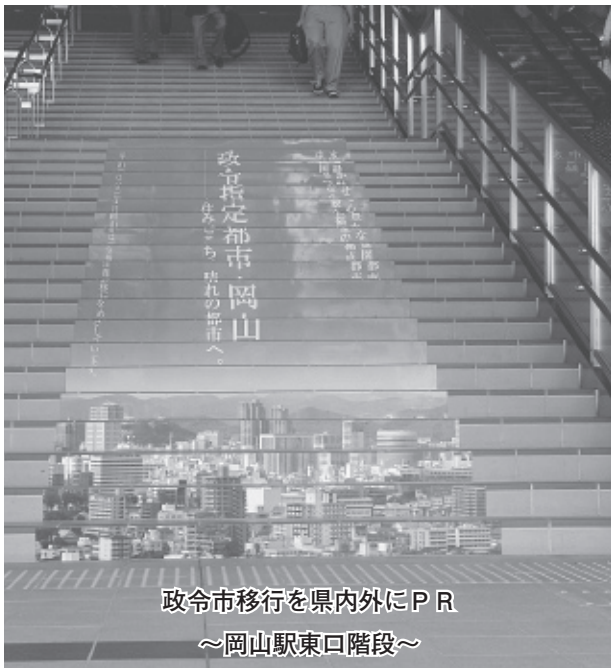
※1 発達障害 = 人間の初期の発達過程が何らかの原因によって阻害され、認知、言語、社会性、運動などの機能的な問題が原因で起こるもので、知的障害、広汎性発達障害（自閉症）、高機能広汎性発達障害（アスペルガー症候群・高機能自閉症）、注意欠陥多動性障害（AD/HD）、学習障害（LD）などがある。

政令市・岡山 実現に向け前進

政令市・岡山が誕生するまでの今後の手順は。

問 政令市・岡山が誕生するまでの今後の手順は。

答 平成20年9月2日、総務大臣から21年4月の政令市移行を実現するため、政令改正を指示するとの明言が得られた。先例市では、移行の半年ほど前に閣議決定が行われ、政令が公布されており、本市も11月定例市議会までに同様



市内の橋の点検状況

問 市内で点検が必要な橋の数と費用は。政令市移行後に移譲される県直轄の橋のうち、市が点検する橋の数と費用は。

答 本市には点検が必要な橋長十五以上の橋が三百五十

五橋あり、平成20年度から23年度までの四年間で点検する予定だ。20年度は九十五橋を点検する予定で、費用は四年間でのおおむね六千万円程度

の手続きが取られるものと考えている。

今後は、全国で18番目、中四国地域では2番目の政令市

として、直接国に対して、政策提言や情報発信を行い、しっかりと地域を牽引する役割を担っていきたい。

まちづくり・農業



度の見込みだ。政令市移行後に移譲される国・県道橋のうち点検対象橋は百四十二橋あり、県は20年度までに百十四橋の点検を終える予定だ。残る二十八橋の点検を市が行い、費用はおおむね六百万円程度の見込みだ。

駅東口・西口地区自転車道 21年度末目途に整備へ

問 岡山国道工事事務所の社会実験結果を踏まえて、どのような自転車走行環境の整備を進めるのか。

答 岡山国道工事事務所は、国道53号沿いの自転車道で仮設の路面標示や案内標識を設置する実験をした。その結果、自転車と歩行者の分離が明確になったことから、常設の方角で検討中とのことである。本市もこの実験結果を参考にしながら、自転車通行環境